

十文字橋の復旧状況

12月22日開通となります

十文字橋の通行につきましては、昨年9月の被災以降大変ご不便をおかけしてまいりました。復旧工事は順調に進み、現在最終工事に入っております。

歩道部分については、12月1日(月)の正午ごろより、仮設歩道橋から修復の完了した被災前の歩道へと通行が変更になります。



修復の進む歩道部の橋桁(11月11日 松田町側から撮影)



全面開通に向けて工事が進む橋桁全景(11月11日 松田町側から撮影)

松田町側で開通式

十文字橋の全面開通は12月

22日(月)。開通を祝い、11時から十文字橋松田町側において開通式を行います。両町長、来賓の渡り初めに続いて、一般車両の通行開始となります。式典開催中の歩道通行、開通直後の車両の通行につきましては、現地でご案内いたしますのでご協力をお願いします。

十文字橋復旧対策協議会

街づくり推進課

☎ 84-0321

合併検討会が開催されました。

平成20年度第2回委員会の概要

平成20年度第2回委員会が11月12日(水)に開催され、各市町が実施した住民説明会で示された意見集約の結果およびこれからの合併検討の参考にするために実施している先進事例調査結果の中間報告が行われました。

また、検討会のなかに、新

たに各市町の副市長・副町長等で構成する「任意合併協議会研究会」を平成21年2月に設置することが合意されました。

今後は、平成22年3月までに最終的な合併検討の方向性を明らかにするとの方針に基づき、先進事例や任意合併協

議会のあり方などについての調査、協議が続けられる予定です。

県西地域合併検討会における検討結果は、ホームページをご覧ください。

HP <http://www.city.odawara.kanagawa.jp/gappei/>

企画政策課 ☎ 84-0312

宝くじの助成金で町の緑化が進んでいます

上島自治会(小林秀樹自治会長)では、財団法人自治総合センターの助成金(宝くじの収益金)を活用した「花いっぱい運動」事業を実施しました。

草花を通じた自治会員のコミュニケーション活動の場として、開成水辺スポーツ公園西側をはじめとする上島自治会の地区内に花壇を6か所設置し、町の花であるアジサイや長期にわたり楽しめるハナミズキなどを植栽しま



した。

この花いっぱい運動は、上島自治会から多数の皆さま



宝くじは豊かさ築くチカラ持ち。

宝くじは、広く社会に設定されています。

財団法人自治総合センター助成金額
緑化推進コミュニティ助成事業

2,000,000円

企画政策課

☎ 84-0312

「子どもたちとあわせのために」 週末家庭制度

「子どもたちとあわせのために」

をお願いします。

親に代わって子どもを育てる家庭のことを「里親」と呼びます。里親制度とは親の病気や離婚、虐待などさまざまな事情により家庭で生活できなくなった子どもたちのために、温かい愛情と理解をもって育てることで、子どもの福祉を保障しようとする制度です。

また、神奈川県では本来の里親制度とは別に、さまざまな事情により家庭で生活できない子どもたちが生活している児童養護施設の子どもを、家庭に迎え、家庭生活を体験させる制度として「週末家庭制度」を設けています。

「里親」または「週末里親」についてご関心のあるかたは、小田原児童相談所にご相談ください。

福祉課

☎ 84-0316

(相談先)

小田原児童相談所

☎ 32-8000

期間は?

期間は週末や祝日・夏休みなどの学校が休みの期間です。迎える家庭の都合で、月1回や長期のお休みだけでも構いません。基本として2泊3日ほどを家庭で過ごすこと



備えあれば憂いなし 家庭で役立つ防災情報



No.7

今年も押し迫ってきました。社会全体が慌しい動きとなり、火の用心も忘れがちな年末の訪れです。過去にも暮れの時期に、初歩的な過失(点検ミスなど)から住宅や工場などが焼け、死傷者も出る痛ましい災害が、各地でありました。

町の消防団では、町内で火事などが発生しないよう、幹部会議が毎月行われ、予防対策などの意見が交わされてきました。今月の25日(木)からは恒例の歳末特別警戒が夜間を中心に展開されます。団員が、皆さんの安全安心を守るため、赤色回転灯をつけた消防車で、警鐘音を鳴らしながら家庭周辺や建物密集地を巡回します。外出前や就寝時の火の元点検を呼びかける啓発活動です。大半の事業所は、年末年始は休みとなりますので、通常の防火マ

ニユアル以外にも、念のため点検をお願いします。また、大掃除などで出た燃えやすい物などは、防火防止のため、屋外の目立つ場所に置くことは控えてください。

さらに皆さんに理解していただきたいことがあります。歳末特別警戒における消防団活動では、団長をはじめ、全団員が町内から火事などの被害を出さないように毎日の警戒にあたっています。昼間にご自身の仕事を終えてからの夜間任務です。そのご苦勞に頭の下がる思いです。マイク放送や警鐘音も聞こえるかと思

危機管理担当参事

小嶋 吉治

環境防災課

☎ 84-0314

